
特 集 I

長期的視点からみた日本の結婚行動：多相生命表アプローチ

特集によせて

津 谷 典 子*

本特集は、18～19世紀の近世、1980～2021年を中心とした現代、そして2021～2070年の将来について、結婚の多相生命表を用いて、わが国の男女の結婚行動の特徴と変化を長期的時間軸の下でライフコースの視点から探ることを目的とする研究の成果をまとめたものである。この研究では、近代化以前の歴史人口、直近40年間の現代人口、そして今後50年間を展望する将来人口という大きく異なる時代背景をもつ人口のそれぞれについて、多相生命表を共通の分析枠組として用いて、結婚とその解消及び死亡に関するライフコース指標を推計することにより、結婚行動の変化を長期的視点から比較・考察している。

人口学研究において、長期的な視点からの分析は重要かつ有用であるものの、一般的に、大きく異なる社会経済状況にある時期・時代の人口集団を同時に比較することは困難な課題である。その主因は、分析に用いることのできるデータに時期・時代によって大きな違いがあり、そのため共通して用いることのできる分析手法に限られることである。本研究では、この難題を克服するため、結婚の多相生命表を共通の分析法として用いて、この手法を過去・現代・将来のそれぞれの人口に適用可能となるようにデータを構築・加工して分析することによって、男女の結婚行動について時代を超えて比較可能な分析結果を示している。

本特集は4つの論文によって構成され、最初の論文（「結婚の多相生命表：基礎的概念と手法」）では、本特集を貫く根幹とも言える結婚の多相生命表について、その基礎的概念と手法を解説し、多相生命表により推計されるライフコース指標について説明している。次に、1980年以降40年間の現代人口を対象とした論文（「年次別およびコーホート別の結婚の多相生命表：1980～2021年および1965～1985年生まれの結婚をめぐる日本人のライフコース」）では、国勢調査や人口動態統計調査などのマクロの公的統計データを用いて、1980～2021年の各年次別に加えてコーホート別にも結婚の多相生命表を作成し、そこから得られるライフコース指標の変化をそれぞれの視点から要因分解することにより、現代日本の男女の結婚行動の変化の特徴と要因を分析している。

そして、近代統計制度が整備される以前の18～19世紀の東北農村人口を対象とした論文

* 慶應義塾大学

(「多相生命表からみた近世東北農村の結婚行動」)では、代表的な近世人口史料のひとつである人別改帳情報から構築されるマイクロパネルデータを用いて男女の多相生命表を作成し、時期(18世紀と19世紀)別にライフコース指標を推計することにより、近代化以前の東北地方の農村に生きた男女の結婚行動とその変化を描き出している。最後に、2021年以降50年間の将来人口を対象とした論文(「多相生命表を用いた配偶関係別将来人口推計」)では、2021~2070年の各年次について、結婚の多相生命表に基づくマクロシミュレーションにより男女別に配偶関係別各歳人口を将来投影し、その政策的インプリケーションについて今後予想される結婚行動の変化を中心に考察している。

本特集の論文は、JSPS 科研費 JP21H00777・23K20645(「長期的視点からみたライフコース変化の多面的実証研究」, 研究代表者:津谷典子), 厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))JPMH20AA2007(「長期の人口減少と大国際人口移動時代における将来人口・世帯推計の方法論的発展と応用に関する研究」, 研究代表者:小池司朗), 及び厚生労働行政推進調査事業費補助金(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))JPMH23AA2005(「ポストコロナ時代における人口動態と社会変化の見通しに資する研究」, 研究代表者:小池司朗)という3つの研究プロジェクトによる共同成果であるとともに、2023年6月に開催された日本人口学会第75回大会の企画セッション2「長期的視点からみた日本の結婚行動の変化:多相生命表アプローチ」(組織者:津谷典子)での報告が原型となっている。この企画セッションでは、国立社会保障・人口問題研究所の小池司朗人口構造研究部長と菅 桂太人口構造研究部第1室長から、討論者として多くの貴重なコメントを頂いた。それらによって、本特集における各論文がより深化したものとなったことに、心よりの謝意を表す。

本特集は、過去・現在・未来という時代によって大きく異なる種類のデータに対して結婚の多相生命表という共通の分析枠組を適用することにより、比較可能な形で男女の結婚行動の変化を統計的に再現することを目指している。ここで示される分析結果から、人々の生き様の変化を感じ取って頂ければ幸いである。